



平成25年3月期

中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

夢ある未来を、共に創る

SCSK株式会社

証券コード：9719

夢ある未来を、共に創る

株主の皆様へ

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第45期上半期（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の事業概況等につき、ご報告申し上げます。

今後とも、株主の皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長
中井戸 信英



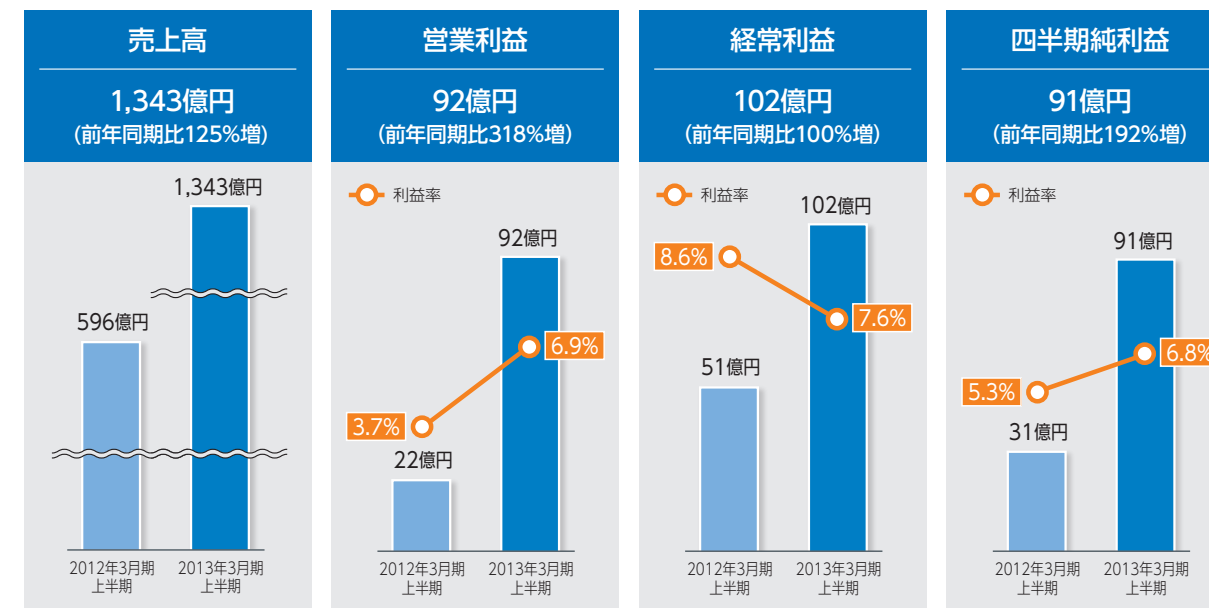
contents

1	トップメッセージ	7	CSRへの取り組み
2	2013年3月期第2四半期連結業績の概要	9	株式情報
3	基本事業戦略について	10	企業情報
5	連結財務諸表		

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、総じて堅調であり、国内景気動向の底堅さを背景に、IT投資に全般的な回復傾向が見られました。一層の業務効率化・生産性向上を目的とする戦略的なIT投資需要が顕在化してきております。また、震災を契機として、BCP（事業継続計画）、ディザスターリカバリー（災害復旧）対策も含めた、クラウド関連サービス及びデータセンター利用拡大の動きが広がっております。

業績につきましては、売上高は、システム開発案件を中心に製造業、流通業及び通信業向けの売上等が順調に推移し、また、昨年10月1日付けの合併による業容拡大もあり、前年同期比125%増の1,343億円となりました。

利益面につきましては、上記の前年同期比増収に加え、販売管理費を含む各種経費の削減・効率化による収益性向上もあり、営業利益は前年同期比318%増の92億円、経常利益は同100%増の102億円となりました。また、四半期純利益は、当第2四半期連結会計期間における繰延税金資産の計上等もあり、前年同期比192%増の91億円となりました。



国内のITマーケットが成熟期を迎える中、ITサービスはますます多様化、高度化し、めまぐるしく変化するビジネスへの柔軟な対応力が求められます。

そのような環境の中、当社は、更なる成長発展を目指し、昨年10月1日付けにて住商情報システム株式会社（“SCS”）と株式会社CSK（“CSK”）が合併し、新会社SCSKとしてスタートしました。

当社は、新会社スタートにあたり、「夢ある未来を、共に創る」という経営理念を策定いたしました。これは、お客様との信頼関係をもとに、お客様と一緒に新たな価値を生み出し、夢のある未来を共に創ることを目指していきたいという思いをこめたものです。この経営理念のもと、お客様のビジネスの価値創造に貢献するとともに、ITサービス業界におけるリーディングポジションを目指してまいります。

当社は合併後、新会社の広範な顧客基盤と幅広いサービスラインナップ、グローバルサービスの豊富なノウハウ、データセンターを含む最先端のクラウドビジネス提供基盤を活用の上、

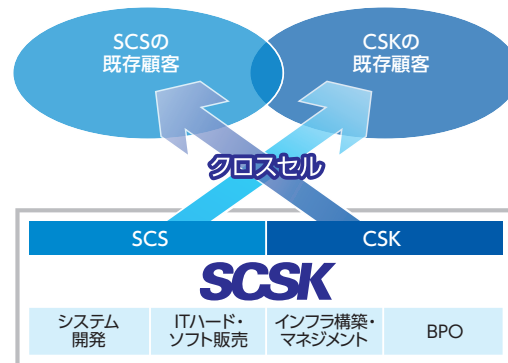
- ① クロスセルの推進
- ② グローバル関連ビジネスの拡大
- ③ クラウド関連ビジネスの拡充

の3つの基本事業戦略を推進し、収益基盤の拡充を図ってまいりましたが、この1年における各々の戦略の推進状況につきまして、ご説明いたします。

クロスセル戦略の推進状況

クロスセルとは、合併により約8,000社と大きく拡大した顧客基盤を最大限に活用するべく、SCS及びCSKのそれぞれが有するITサービスを、相互にそれぞれのお客様に提供するというものです。

SCSとCSKの顧客基盤は、流通業・製造業・金融業・通信運輸業等と共通しておりますが、両社の上位顧客のうち約80%は重複がないことから、それぞれのお客様に対して、それぞれが強みとしてきたサービスを相互に提供する“クロスセル”を、全社をあげて、積極的に推進しております。



事例

- CSKにおいて国内向けシステム開発を提供してきた大手メーカーから、SCSの得意とするグローバル関連の基幹系システム開発に、当社のクラウド型ITインフラ提供サービス「USiZE」も提供し、クロスセル・グローバル・クラウドの複合案件として受注。
- 大手部品メーカーに対し、SCSの基幹系システムの開発とCSKの運用保守を共同で提案を行い、新規大型案件として受注。

なお、昨年10月の合併後1年間で、クロスセルの実績は、提案ベースで約270億円、受注実績で約115億円となっており、収益基盤の拡充に寄与しております。

グローバル戦略の推進状況

当社が掲げるグローバル戦略は、日本のお客様が海外展開を目指す際に、頼れるパートナーとして「日本流の高い品質基準」で、全面的に支援していくというものです。

現在、多くの日本企業が海外事業を積極的に展開し、グローバルなITシステムの最適化や日本品質でのサービスが求められており、当社では長年培った海外展開のノウハウを活用し、今後の新たな収益機会として拡大を目指しております。

事例

- 大手自動車メーカー向けに中南米工場向けシステムの構築案件を受注。同メーカーの東南アジア地域その他海外グループ会社向けのシステム構築案件も提案中。
- 当社の商社向けのグローバル開発案件の構築実績が評価され、大手総合商社の米国現地法人向けシステムの開発・導入案件を受注。

なお、中期的な目標として、今後積極的にグローバル関連取引の拡大を図り、3年から5年で、総売上高の10%程度のグローバル関連売上高を目指しております。

○ グローバル拠点



クラウド戦略の推進状況

クラウドビジネスの背景には、「ITシステムの所有」から「ITサービスの利用」という急速に進むパラダイムシフトがあります。当社では、増加するお客様のクラウドサービスに対するニーズに応えるべく、データセンター需要に対応すると同時に、SCSKとしてのシステム開発及びBPO等に関する業務ノウハウを組み合わせたクラウド時代のサービス提供型ビジネスを積極的に展開しております。

事例

- 大手化学品メーカー向けのインフラ基盤構築、運用保守を「USiZE」の提供・ストレージ保守等を含むクラウド案件として受注。
- 大手損害保険会社向けに、クラウド型開発環境サービス「PrimeCloud for Developers」の提供を受注。クラウドを活用した柔軟な開発リソースとプロジェクト一元管理サービスを提供。

なお、BCP（事業継続計画）やディザスタリカバリー（災害復旧）の観点からも、クラウドビジネスは非常に活況であり、このような需要に対応するため、データセンターの新設を企画中であります。既に、関東地区の既存のデータセンターの隣接地を取得済で、現状延床面積約1.2～1.5倍の範囲で拡張する投資計画を検討しております。

クラウド関連事業の売上高は、数年内に500億円規模を目指すべく、業容の拡大に取り組んでおります。

○ データセンター（netXDC）の構成



連結貸借対照表			(単位：百万円)		
科 目	前連結会計年度 2012年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2012年9月30日	科 目	前連結会計年度 2012年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2012年9月30日
資産の部			負債の部		
流動資産	187,212	183,805	流動負債	122,548	150,204
現金及び預金	28,158	20,846	支払手形及び買掛金	16,270	14,416
受取手形及び売掛金	55,942	51,932	1年内償還予定の新株予約権付社債	—	35,000
有価証券	1,599	1,399	1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
営業投資有価証券	35,787	36,574	未払法人税等	579	1,324
商品及び製品	2,923	3,891	賞与引当金	5,753	5,764
仕掛品	619	675	役員賞与引当金	66	37
原材料及び貯蔵品	33	23	工事損失引当金	261	130
短期貸付金	17,275	15,923	カード預り金	59,220	60,284
預け金	36,802	45,440	その他	30,395	23,246
その他	18,887	17,890	固定負債	53,960	43,949
貸倒引当金	△ 10,818	△ 10,792	社債	—	10,000
固定資産	113,715	112,033	新株予約権付社債	35,000	—
有形固定資産	53,708	54,585	長期借入金	9,860	24,860
建物及び構築物	25,753	27,472	退職給付引当金	4,190	4,668
土地	19,614	19,614	役員退職慰労引当金	53	45
その他	8,340	7,499	資産除去債務	1,341	1,373
無形固定資産	7,683	7,540	その他	3,515	3,002
のれん	454	399	POINT 2 ➡ 負債合計	176,508	194,154
その他	7,229	7,140	純資産の部		
投資その他の資産	52,323	49,908	株主資本	119,168	96,569
投資有価証券	15,944	14,208	資本金	21,152	21,152
その他	36,719	35,998	資本剰余金	33,152	3,074
貸倒引当金	△ 340	△ 299	利益剰余金	73,554	81,033
POINT 3 ➡ 資産合計	300,928	295,839	自己株式	△ 8,690	△ 8,691
			その他の包括利益累計額	21	△ 187
			その他有価証券評価差額金	787	604
			繰延ヘッジ損益	△ 27	△ 36
			為替換算調整勘定	△ 738	△ 754
			新株予約権	190	192
			少数株主持分	5,039	5,110
			POINT 3 ➡ 純資産合計	124,419	101,685
			負債・純資産合計	300,928	295,839

連結損益計算書			(単位：百万円)		
科 目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～2011年9月30日※	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～2012年9月30日	科 目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～2011年9月30日※	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～2012年9月30日
売上高	59,609	134,385	売上原価	46,355	103,296
売上総利益	13,254	31,089	販売費及び一般管理費	11,031	21,793
営業利益	2,222	9,295	営業外収益	2,925	1,736
営業外収益	2,925	1,736	営業外費用	15	756
営業外費用	15	756	経常利益	5,132	10,275
経常利益	5,132	10,275	特別利益	8	102
特別利益	8	102	特別損失	104	48
特別損失	104	48	税金等調整前四半期純利益	5,036	10,329
税金等調整前四半期純利益	5,036	10,329	法人税、住民税及び事業税	1,768	961
法人税、住民税及び事業税	1,768	961	法人税等調整額	142	96
法人税等調整額	142	96	少数株主損益調整前四半期純利益	3,126	9,271
少数株主損益調整前四半期純利益	3,126	9,271	少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 8	113
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 8	113	四半期純利益	3,134	9,158
四半期純利益	3,134	9,158			

連結キャッシュ・フロー計算書			(単位：百万円)		
科 目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～2011年9月30日※	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～2012年9月30日	科 目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～2011年9月30日※	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～2012年9月30日
POINT 4 ➡ 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,638	10,856	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 3
POINT 5 ➡ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,331	△ 1,741	現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43	1,440
POINT 6 ➡ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,252	△ 7,670	現金及び現金同等物の期首残高	25,892	63,661
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 11	△ 3	連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△ 15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43	1,440	現金及び現金同等物の四半期末残高	25,935	65,086
現金及び現金同等物の期首残高	25,892	63,661			
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△ 15			
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,935	65,086			

※ 前第2四半期連結累計期間には、旧CSKの数値は含まれておりません。

財務のPOINT

① 資産

前連結会計年度末に比べ5,088百万円(1.7%)減少し、295,839百万円となりました。

② 負債

前連結会計年度末に比べ17,645百万円(10.0%)増加し、194,154百万円となりました。主な増加要因は、社債発行と借入による増加25,000百万円です。

③ 純資産

前連結会計年度末に比べ22,734百万円(18.3%)減少し、101,685百万円となりました。主な減少要因は、A種優先株式及びB種優先株式の取得及び消却による減少30,077百万円です。

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は10,856百万円となり、前年同期より3,217百万円増加しました。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1,741百万円となり、前年同期より4,589百万円増加しました。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は7,670百万円となり、前年同期より6,418百万円減少しました。

SCSKは、良き企業市民として社会と共生し、サステナブルで豊かな未来を創っていきます。

SCSKのCSR

SCSKは、今や社会インフラを担うITサービスで、さまざまなステークホルダーの皆様と共に、社会の諸課題を解決してまいります。社会的責任の国際規格であるISO26000に基づくCSR活動、特に社員参加による社会貢献活動を積極的に推進しています。CSR活動の詳細については、ホームページ上で公開しています。

エネルギー管理システム PrimeEco®

SCSKでは、自然エネルギーを安定的に利用するために新たなエネルギー管理システム「PrimeEco® (プライムエコ)」を開発しました。SCSK多摩センターオフィスにおいて、導入効果を検証する実証実験を開始しています。この実証実験をもとに、一連のシステムの導入効果を高めて、公共施設やオフィスビルなどに2012年度中の提供開始を目指していきます。



CAMP

CAMP (Children's Art Museum & Park) は、新しい学びのスタイルであるワークショップを通して、こどもたちの「共に創る力」を育む社会貢献活動です。2001年にスタートして以来、こどもたちの創造性やコミュニケーション力を引き出すさまざまなワークショップを開発・実践するとともに、全国への普及に努めてきました。SCSKは人間性の尊重と社会における人材の育成を企業の社会的責任としてとらえ、未来を担うこどもたちの育成においても積極的にその責任を果たしていくため、CAMPの活動に取り組んでいます。CAMPの活動には社員がボランティアスタッフとして参画し、こどもたちを通して地域社会と触れ合うことで、社員自らの成長の機会となっています。



社会貢献活動クラブ Earth One

社員有志で構成する社会貢献活動クラブ「Earth One」では、イベント開催、ボランティア活動、寄付などさまざまな社会貢献活動を行っています。またSCSKでは、ボランティア活動への参加を目的とした休暇やマッチングギフト(*)などの制度を設定し、社員の主体的な活動を支援しています。

(※)マッチングギフトとは…
Earth Oneから外部団体への寄付に対して、会社が同額の寄付を行う制度

国連グローバル・コンパクトの支持

SCSKは、2007年から国連グローバル・コンパクトに参加しています。国連グローバル・コンパクトの「人権・労働基準・環境・腐敗防止」に関する10原則を支持し、実践していきます。

>> 国連グローバル・コンパクトとは

国連グローバル・コンパクトとは、各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。



ISO26000中核主題とSCSKのCSRへの取り組み

SCSKでは、社会的責任に関する国際規格であるISO26000が定める中核主題に対し、以下の取り組みを行っています。

ISO26000 中核主題	SCSKの主な取り組み
組織統治	- コーポレート・ガバナンスの強化 - 内部統制システムの整備 - リスク管理の強化 - ステークホルダーに対する情報開示
人権	- 国連グローバル・コンパクトの支持 - 人権の尊重・差別の禁止
労働慣行	- 人材育成の推進 - ダイバーシティの推進 - 障がい者支援 - ワークライフバランスへの取り組み - 労働安全衛生の推進
環境	- 環境マネジメントの推進 - ISO14001認証取得 - 環境目的・目標・指標の推進 - 環境ビジネスの拡大 - データセンターにおける環境負荷低減

ISO26000 中核主題	SCSKの主な取り組み
公正な事業慣行	- コンプライアンスの推進 - 公正な取引の徹底 - 情報セキュリティの強化
消費者課題	- 製品・サービスの品質管理の推進 - お客様満足向上に向けた取り組み - 個人情報保護の徹底
コミュニティ参画 および発展	- 社会貢献活動の推進 - 次世代人材の育成 - 地域社会・国際社会への協力 - 地球環境保護への取り組み

>> ISO26000とは

持続可能な発展を実現するために、世界最大の国際標準化機関ISOによって、多様なステークホルダーとの合意形成プロセスで開発された、社会的責任に関する初の包括的な手引書です。すべての組織が取り組むべきテーマとして7つの中核主題を定めています。

株式の状況 (2012年9月30日現在)

株式の総数

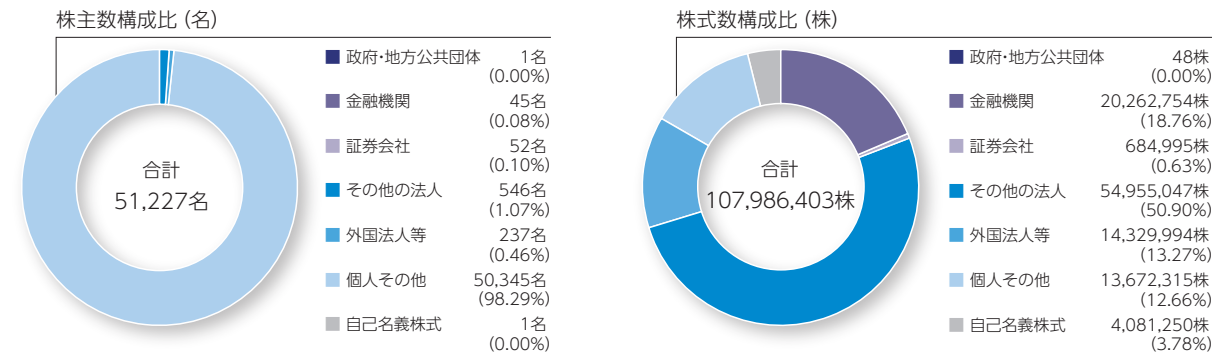
発行可能株式総数 …… 200,000,000株 発行済株式数 …… 107,986,403株

大株主

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)	議決権比率 (%)
住友商事株式会社	52,697,159	50.72	51.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,329,600	6.09	6.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,789,900	3.65	3.70
SCSKグループ従業員持株会	2,705,249	2.60	2.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,512,100	1.46	1.48
三井住友信託銀行株式会社	1,501,300	1.44	1.47
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	1,230,300	1.18	1.20
株式会社アルゴグラフィックス	1,015,500	0.98	0.99
BNYML – NON TREATY ACCOUNT	954,000	0.92	0.93
HSBC BANK PLC – CLIENTS UK TAX TREATY	778,300	0.75	0.76

(注) 当社は、自己株式4,081,250株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況



私たちの使命

夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます。

私たちの3つの約束

- **人を大切にします。**
一人ひとりの個性や価値観を尊重し、互いの力を最大限に活かします。
- **確かな技術に基づく、最高のサービスを提供します。**
確かな技術とあふれる情熱で、お客様の喜びと感動につながるサービスを提供します。
- **世界と未来を見つめ、成長し続けます。**
全てのステークホルダーの皆様とともに、世界へ、そして未来へ向けて成長し続けます。

経営理念

事業内容

システム開発、ITインフラ構築、ITマネジメント、BPO、ITハード・ソフト販売

役員 (2012年9月30日現在)

取締役社長 ※1 …… 中 井 戸 信 英	取締役 ※1 …… 鈴 木 久 和	取締役 …… 福 永 哲 弥	監査役 ※3 ※4 …… 朝 香 友 治
取締役 …… 中 西 毅	取締役 …… 古 沼 政 則	取締役 …… 山 崎 弘 之	監査役 ※3 ※4 …… 播 磨 昭 彦
取締役 …… 露 口 章	取締役 ※1 …… 熊 崎 龍 安	取締役 (非常勤) ※2 内 藤 達 次 郎	監査役 (非常勤) ※3 澁 谷 年 史
取締役 …… 鎌 田 裕 彰	取締役 …… 谷 原 徹	取締役 (非常勤) ※2 眞 下 尚 明	監査役 (非常勤) ※3 安 浪 重 樹
取締役 …… 栗 本 重 夫	取締役 …… 鳥 山 悟	取締役 (非常勤) ※2 洲 上 岩 雄	※1は代表取締役
取締役 …… 鈴 木 正 彦	取締役 …… 市 野 隆 裕	監査役 ※4 …… 小 島 收	※2は法令に定める社外取締役
			※3は法令に定める社外監査役
			※4は法令に定める常勤監査役

グループ一覧 (2012年9月30日現在)

海 外

Sumisho Computer Systems(USA),Inc.	住商信息系統 (大連) 有限公司	希世軟件系統 (大連) 有限公司
SUMISHO COMPUTER SYSTEMS(EUROPE) LTD.	Sumisho Computer Systems (Asia Pacific) Pte.Ltd.	
住商信息系統 (上海) 有限公司	希世軟件系統 (上海) 有限公司	

国 内

ヴィーイー・リナックス・システムズ・ジャパン株式会社	株式会社CSIソリューションズ	株式会社CSKニアショアシステムズ
SCSソリューションズ株式会社	株式会社CSKシステムマネジメント	株式会社クオカード
株式会社アライドエンジニアリング	株式会社JIEC	東京グリーンシステムズ株式会社
株式会社CSKサービスウェア	株式会社CSK Winテクノロジー	株式会社エイトレッド ^(※)
株式会社ペリサーブ	株式会社北海道CSK	住商情報データクラフト株式会社 ^(※)
株式会社CSKプレッシェンド	株式会社福岡CSK	株式会社アルゴグラフィックス ^(※)

(※) 持分法適用関連会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金支払 株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して めた日
公告方法	電子公告にて掲載。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

〈※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。〉
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

(インターネット ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

ホームページのご案内



SCSK株式会社



▼ 株主・投資家情報はこちらより



SCSK

検索

<http://www.scsk.jp/>

免責事項

本報告書は、SCSKグループの業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、SCSK及びグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製、転記等を行わないようお願いいたします。

SCSK株式会社

〒135-8110
東京都江東区豊洲三丁目2番20号 豊洲フロント



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



環境に配慮した
「ベジタブルインキ」を
使用しています。